

2025年4月14日

お客様 各位



日本曹達株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 2 号
農業化学品事業部 普及部

除草剤「トプラメゾン」の開発と外来雑草対策への貢献で 日本雑草学会賞技術賞を受賞

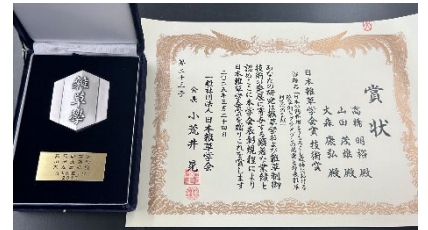
日本曹達株式会社(本社:東京都千代田区/代表取締役社長:阿賀 英司、以下 日本曹達)は、除草剤「トプラメゾン」(製品名:日曹アルファード®液剤、写真1)の開発により、2025年3月24日に信州大学長野キャンパスで開催された日本雑草学会第64回大会にて、日本雑草学会技術賞を受賞いたしました(写真1)。



写真1. 除草剤 トプラメゾン



写真2. 日本農業学会 業績賞 授賞式



近年、輸入飼料の高騰により酪農家の経営環境が厳しさを増す中、国内での飼料生産の安定化が求められています。しかし、輸入飼料に混入したオオブタクサやアレチウリなどの外来雑草が飼料畑に侵入し、甚大な被害をもたらしてきました。これらの難防除外来雑草は従来の除草剤では防除が難しく、新規作用の除草剤が望まれていました。当社は新規作用を持つとうもろこし除草剤の開発に取り組み、選択性に優れ、一年生雑草に高い効果を有するトプラメゾンを開発しました。

トプラメゾンは、植物のプラストキノン生合成に関わる酵素(4-HPPD)を阻害する白化型除草剤で、以下の特長を有しています。

- 一年生のイネ科および広葉雑草の幅広い草種に高い効果を示す
- オオブタクサやアレチウリなどの難防除外来雑草に卓効を発揮
- 多年生雑草のワルナスビやキクイモにも効果を示す
- 飼料用とうもろこしに対して高い安全性を有する

2013年に農薬登録を取得し上市して以来、トプラメゾン液剤は難防除外来雑草対策の有効なツールとして広く普及し、国内の飼料用とうもろこし栽培の安定生産と酪農経営の改善に大きく貢献してい

ます。この功績は第 20 回(令和元年度)民間部門農林水産省研究開発功績者表彰において公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会会長賞を受賞するなど、高く評価されています。

今後は他の除草剤との体系処理や耕種的防除の組み合わせによる防除方法のさらなる検討を行い、一層の普及拡大を目指してまいります。

日本曹達は今回の栄誉を励みとし、引き続き効力に優れ、安全性が高く環境に配慮した農薬の開発を通じて、食糧安全保障と持続可能な農業に貢献してまいります。

【お問い合わせ先】

日本曹達株式会社 農業化学品事業部 普及部広報課

TEL:03-4212-9655(お客様相談窓口)

FAX:03-4212-9676



農業化学品ホームページは
こちらから

以 上